

2 ガードチーム pure heartが全国ナンバー1

19

メンバーに市民スポーツ大賞を授与

神奈川県で2月15日に開催された第42回マーチングバンド全国大会。カラーガード部門のジュニアの部で、市内の小中学生らで構成するpure heart（ピュアハート）が最優秀賞に輝きました。この日、メンバー11人は指導者とともに市役所を訪れ、牧野市長に喜びの声を報告。リーダーの水上心愛さんは「みんなで力を合わせて目標としていた最優秀賞を獲得できました」と話すと、牧野市長は「とても名誉なこと。日頃の練習の成果ですね」とメンバーをねぎらい、市民スポーツ大賞の盾を贈りました。



牧野市長から市民スポーツ大賞の盾を受け取るメンバー



オープン初日の記念イベントを楽しむ親子

3 市庁舎に絵本備えた楽しい空間が誕生

3

総合案内横に「きつずるーむ」オープン

小さなお子さんと一緒にでも市役所に気軽に来てもらえるようにと、総合案内の横にあったスペースに「きつずるーむ」を設置しました。部屋の壁には西山公園の四季をイメージして、桜や新緑、紅葉をデザイン。従来の授乳室に加え、絵本50冊が備えられ、親子で楽しめる空間が誕生しました。この日オープンを記念したイベントには親子ら14人が参加。文化の館職員による絵本の読み聞かせや手遊びをして楽しみました。「きつずるーむ」は開庁時間内に保護者同伴でいつでも利用できます。

3 モンゴルの救急を3年連続で支援

5

横綱 日馬富士関の仲介で救急車をモンゴルへ

平成15年に鯖江・丹生消防組合の本署に配備され、今年2月に更新時期を迎えた高規格救急車1台がモンゴルに寄贈されました。モンゴルへの支援は、一昨年のポンプ車、昨年の救急車に引き続き今年で3年連続となります。この日の贈呈式には、今回も仲介役となった横綱 日馬富士関が出席。牧野市長と内藤越前町長から救急車の鍵を受け取ると「これまでの車はモンゴルで活躍している。今回贈呈してもらった救急車も多くの命を救ってくれると思う」と感謝の言葉を述べました。



贈呈式を終え、日馬富士関を囲んで記念撮影



J K課メンバーとイベントに参加した皆さん（郷陽会館）

3 JK課1期生メンバー11人が卒業

7

支援者にありがとうの気持ち伝えるイベント開催

昨年4月にスタートした鯖江市役所JK課プロジェクト。ごみ拾い企画「びかびかプラン」や市内の菓子店主らとコラボしたスイーツの考案、図書館の空席状況が分かるアプリ開発など、女子高生ならではの発想でまちづくりに取り組んできました。3年生メンバー11人の卒業を機に、1年間支援してくれた人に感謝の気持ちを伝えたいと卒業イベントを企画。おもしろ動画を撮影したり、自らが手掛けたスイーツを味わったり、メンバー自らがテーマとした『JK課っぽい1日』を参加者全員で楽しみました。

平成27年 優良市民の皆さん

徳橋 重治
さん



(当田町)

小学校の児童に食の大切さ、物づくり、収穫の喜びを伝えるための農作業実体験活動に尽力されている。

竹内 香代子
さん



(旭町2丁目)

児童の登校時間帯の交通安全の確保と見守り、明るくあいさつ運動の推進に尽力されている。

窪田 君雄
さん



(定次町)

町内ごみステーションの清掃・管理を行い、町内の環境美化に尽力されている。

村上 信子
さん



(屋形町)

町内公園等の花壇の整備や清掃活動を行い、町内の環境美化に尽力されている。

三ツ井 イツ子
さん



(有定町2丁目)

児童の登校時間帯の交通安全の確保と見守り、明るくあいさつ運動の推進に尽力されている。

原田 朝尉さん
(御幸町2丁目)

町内公園等の花壇の整備や清掃活動を行い、町内の環境美化に尽力されている。

渡辺 汎美
さん



(丸山町3丁目)

鯖江人形浄瑠璃「近松座」の大道具作成に携わり、文化振興やまちづくり活動の活性化に尽力されている。

山崎 利之
さん



(石生谷町)

「櫻十六会」の立ち上げをはじめ、積極的に清掃活動を行うなど、町内の環境美化に尽力されている。

問合せ
総務課
☎ 53 2200

2月28日に響陽会館で開催された市区長会連合会総会で優良市民の表彰が行われました。日頃から隠れた善行を続け、市民の模範となっておられる優良市民の皆さんを紹介します。

ハロートドラー! vol.⑤

オリジナルユニフォーム「ラクーンユニフォーム」
～お客様のニーズにとことん応える～



※トドラーとはヨチヨチ歩く幼児のこと

このコーナーでは、市内で新たに起業した事業所を紹介。皆さんまだ歩き始めたばかりですが、今後しっかりした足取りで歩むことを目指し、日々奮闘中です。



代表の渡辺さん

今回は、昨年9月に創業したオリジナルユニフォームを製作する会社「ラクーンユニフォーム」を紹介します。代表の渡辺誠之さんは、新潟県の出身で、おじいさんが創業した白衣や制服を作る会社で十数年勤めた後、奥さんの出身地鯖江で創業を決意しました。「仕事は安定していたが、ずっとレールの上を歩いてきて、自分の力を試したくなった。一人でやる重み、商売に対する真剣な気持ちと向き合い、修行に挑む気持ちだった」と当時を振り返ります。一方で、モノづくりのまち鯖江で生真面目な職人さんの作った商品、きめ細かいサービス、それに繊維のほとんどが揃うということに惚れ込み、「ここで作るものは売れる！」という直感があったそうです。

主力製品は仕事着、制服、ケアウエアなどオリジナルユニフォームの製造販売や地元デザイナーとのコラボ商品など。また子どもたちの園児服や遊び着の提案を行うこともあります。お客様ととことん話をしてニーズを引き出しながら、アイデンティティが感じられるものを作り、必ず気に入ってもらえる商品を届けることが信条。この他にも最近はスーツのイージーオーダーも手掛け、眼鏡やカフスピンとコラボして販売するなど、眼鏡のまちならではのユニークな取り組みも始めています。

人脈ゼロからのスタート。自分のことを「ポジティブで物怖じしない性格」と言う渡辺社長。一日30件の飛び込み営業や壮年会、商工会議所青年部への加盟で今では知り合いが随分増えたそうで、「かわいがってもらってます！」とニコリ。今後ますますの活躍を期待します。



オリジナルの制服や遊び着



新鯖江1丁目7-22 ☎42-7899
URL <http://raccoon-uni.jimdo.com/>